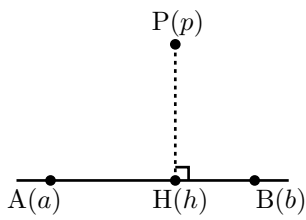


反射テスト 複素平面 証明 三角形の垂線・面積 01

1. 複素平面上に直線 AB があり、その直線上にない点 P がある。点 P から直線 AB へ下ろした垂線の足を H とする。点 A, B, P, H を表す複素数をそれぞれ a, b, p, h とする。またそれらの共役複素数をそれぞれ $\bar{a}, \bar{b}, \bar{p}, \bar{h}$ とする。

(S 級 10 分、 A 級 12 分 30 秒、 B 級 15 分、 C 級 18 分)



- (1) H が直線 AB 上にあることから、 h, a, b とそれらの共役複素数 $\bar{h}, \bar{a}, \bar{b}$ についての方程式を作れ。

- (2) $PH \perp AB$ であることから、 p, h, a, b とそれらの共役複素数 $\bar{p}, \bar{h}, \bar{a}, \bar{b}$ についての方程式を作れ。

- (3) (1), (2) から \bar{h} を消去し、 h について解くと次のようになった。 をうめよ。

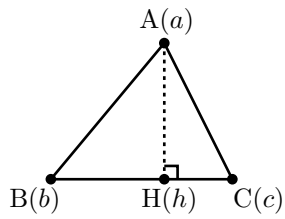
$$h = \frac{p(\text{ }) + \bar{p}(\text{ }) + a\bar{b} - b\bar{a}}{\text{ }(\bar{b} - \bar{a})}$$

- (4) (3) から、 $|p - h|$ を求めると次のようになった。 をうめよ。

$$\frac{|p(\text{ }) + a(\text{ }) + b(\text{ })|}{\text{ }|a - b|}$$

2. 複素平面上に $\triangle ABC$ があり, 点 A から直線 BC へ下ろした垂線の足を H とする. 点 A, B, C, H を表す複素数をそれぞれ a, b, c, h とする. またそれらの共役複素数をそれぞれ $\bar{a}, \bar{b}, \bar{c}, \bar{h}$ とする.

(S 級 10 分、A 級 12 分 30 秒、B 級 15 分、C 級 18 分)

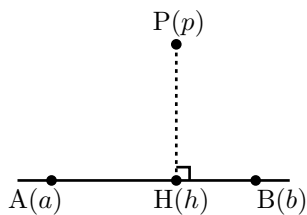


- (1) H が直線 BC 上にあることから, h, b, c とそれらの共役複素数 $\bar{h}, \bar{b}, \bar{c}$ についての方程式を作れ.
- (2) $AH \perp BC$ であることから, h, a, b, c とそれらの共役複素数 $\bar{h}, \bar{a}, \bar{b}, \bar{c}$ についての方程式を作れ.
- (3) (1), (2) から \bar{h} を消去し, h について解け.
- (4) (3) から, $|a - h|$ を求めよ.
- (5) $\triangle ABC$ の面積を a, b, c とそれらの共役複素数で表せ.

反射テスト 複素平面 証明 三角形の垂線・面積 01 解答解説

1. 複素平面上に直線 AB があり、その直線上にない点 P がある。点 P から直線 AB へ下ろした垂線の足を H とする。点 A, B, P, H を表す複素数をそれぞれ a, b, p, h とする。またそれらの共役複素数をそれぞれ $\bar{a}, \bar{b}, \bar{p}, \bar{h}$ とする。

(S 級 10 分、A 級 12 分 30 秒、B 級 15 分、C 級 18 分)



(1) H が直線 AB 上にあることから、 h, a, b とそれらの共役複素数 $\bar{h}, \bar{a}, \bar{b}$ についての方程式を作れ。

(2) $PH \perp AB$ であることから、 p, h, a, b とそれらの共役複素数 $\bar{p}, \bar{h}, \bar{a}, \bar{b}$ についての方程式を作れ。

(3) (1), (2) から \bar{h} を消去し、 h について解くと次のようになった。□ をうめよ。

$$h = \frac{p(\square) + \bar{p}(\square) + a\bar{b} - b\bar{a}}{\square(\bar{b} - \bar{a})}$$

(4) (3) から、 $|p - h|$ を求めると次のようになった。□ をうめよ。

$$|p(\square) + a(\square) + b(\square)| \square |a - b|$$

解答

(1) 題意から、 a, b は一致しないので、 $a - b \neq 0$

★ 直線 H が直線 AB 上にある $\Leftrightarrow \frac{h - a}{b - a} = \frac{\bar{h} - \bar{a}}{\bar{b} - \bar{a}}$

(2)

★ 垂直 $PH \perp AB$ である $\Leftrightarrow \frac{p - h}{b - a} + \frac{\bar{p} - \bar{h}}{\bar{b} - \bar{a}} = 0$

(3)

$$(1) \Leftrightarrow \frac{\bar{h}}{\bar{b} - \bar{a}} = \frac{h - a}{b - a} + \frac{\bar{a}}{\bar{b} - \bar{a}}$$

$$(2) \Leftrightarrow \frac{\bar{h}}{\bar{b} - \bar{a}} = \frac{p - h}{b - a} + \frac{\bar{p}}{\bar{b} - \bar{a}}$$

$$\therefore \frac{h - a}{b - a} + \frac{\bar{a}}{\bar{b} - \bar{a}} = \frac{p - h}{b - a} + \frac{\bar{p}}{\bar{b} - \bar{a}}$$

$$\Leftrightarrow \frac{2h}{b - a} = \frac{p + a}{b - a} + \frac{\bar{p} - \bar{a}}{\bar{b} - \bar{a}}$$

$$\Leftrightarrow h = \frac{p + a}{2} + \frac{(b - a)(\bar{p} - \bar{a})}{2(\bar{b} - \bar{a})}$$

$$\Leftrightarrow h = \frac{p(\square) + \bar{p}(\square) + a\bar{b} - b\bar{a}}{\square(\bar{b} - \bar{a})}$$

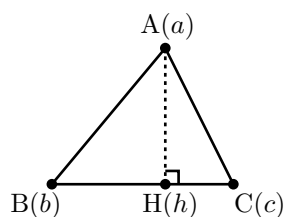
(4)

$$\begin{aligned} |p - h| &= \left| p - \frac{p(\bar{b} - \bar{a}) + \bar{p}(b - a) + a\bar{b} - b\bar{a}}{2(\bar{b} - \bar{a})} \right| \\ &= \left| \frac{p(\bar{b} - \bar{a}) - \bar{p}(b - a) - a\bar{b} + b\bar{a}}{2(\bar{b} - \bar{a})} \right| \\ &= \frac{|p(\square) + a(\square) + b(\square)|}{\square |a - b|} \end{aligned}$$

☆絶対値であるから絶対値内の値が (-1) 倍であっても OK。

2. 複素平面上に $\triangle ABC$ があり、点 A から直線 BC へ下ろした垂線の足を H とする。点 A, B, C, H を表す複素数をそれぞれ a, b, c, h とする。またそれらの共役複素数をそれぞれ $\bar{a}, \bar{b}, \bar{c}, \bar{h}$ とする。

(S 級 10 分、A 級 12 分 30 秒、B 級 15 分、C 級 18 分)



- (1) H が直線 BC 上にあることから、 h, b, c とそれらの共役複素数 $\bar{h}, \bar{b}, \bar{c}$ についての方程式を作れ。
- (2) $AH \perp BC$ であることから、 h, a, b, c とそれらの共役複素数 $\bar{h}, \bar{a}, \bar{b}, \bar{c}$ についての方程式を作れ。
- (3) (1), (2) から \bar{h} を消去し、 h について解け。
- (4) (3) から、 $|a - h|$ を求めよ。
- (5) $\triangle ABC$ の面積を a, b, c とそれらの共役複素数で表せ。

解答

- (1) 題意から、 b, c は致しないので、 $b - c \neq 0$

★直線 H が直線 BC 上にある $\Leftrightarrow \frac{h - b}{c - b} = \frac{\bar{h} - \bar{b}}{\bar{c} - \bar{b}}$

- (2)

★垂直 $AH \perp BC$ である $\Leftrightarrow \frac{h - a}{c - b} + \frac{\bar{h} - \bar{a}}{\bar{c} - \bar{b}} = 0$

- (3)

$$(1) \Leftrightarrow \frac{\bar{h}}{\bar{c} - \bar{b}} = \frac{h - b}{c - b} + \frac{\bar{b}}{\bar{c} - \bar{b}}$$

$$(2) \Leftrightarrow \frac{\bar{h}}{\bar{c} - \bar{b}} = \frac{a - h}{c - b} + \frac{\bar{a}}{\bar{c} - \bar{b}}$$

$$\therefore \frac{h - b}{c - b} + \frac{\bar{b}}{\bar{c} - \bar{b}} = \frac{a - h}{c - b} + \frac{\bar{a}}{\bar{c} - \bar{b}}$$

$$\Leftrightarrow \frac{2h}{c - b} = \frac{a + b}{c - b} + \frac{\bar{a} - \bar{b}}{\bar{c} - \bar{b}}$$

$$\Leftrightarrow h = \frac{a + b}{2} + \frac{(c - b)(\bar{a} - \bar{b})}{2(\bar{c} - \bar{b})}$$

$$\Leftrightarrow h = \frac{a(\bar{c} - \bar{b}) + b(\bar{c} - \bar{a}) + c(\bar{a} - \bar{b})}{2(\bar{c} - \bar{b})}$$

$$\Leftrightarrow h = \frac{a(\bar{b} - \bar{c}) - b(\bar{c} - \bar{a}) - c(\bar{a} - \bar{b})}{2(\bar{b} - \bar{c})}$$

- (4)

$$\begin{aligned} |a - h| &= \left| a - \frac{a(\bar{b} - \bar{c}) - b(\bar{c} - \bar{a}) - c(\bar{a} - \bar{b})}{2(\bar{b} - \bar{c})} \right| \\ &= \frac{|a(\bar{b} - \bar{c}) + b(\bar{c} - \bar{a}) + c(\bar{a} - \bar{b})|}{2|\bar{b} - \bar{c}|} \end{aligned}$$

☆絶対値であるから絶対値内の値が (-1) 倍であっても OK .

- (5)

$$\begin{aligned} \triangle ABC &= \frac{|b - c||a - h|}{2} \\ &= \frac{1}{4} |a(\bar{b} - \bar{c}) + b(\bar{c} - \bar{a}) + c(\bar{a} - \bar{b})| \quad \dots \star \text{公式} \text{として覚えてもいいだろう.} \end{aligned}$$